


ガ  
ん  
が

令和八年度

に  
ゆ  
う  
え  
ん  
し  
き

尾倉すみれ  
幼稚園



 **議会だより** No.168

令和8年度予算	..... P 2
1月臨時会・3月定例会	..... P 4
議案質疑	..... P 5
委員会質疑	..... P 6
議決結果	..... P 9

視察研修報告	..... P 10
研修報告・議会のうごき	..... P 11
一般質問	..... P 12～
あとがき	..... P 24

# まちの未来は、この予算から

## 注目事業

第5次苅田町総合計画に掲げた将来都市像を実現するため  
6本柱を軸にした予算

### 1. 未来を拓く人づくり

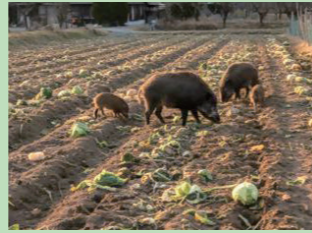
各小・中学校体育館空調設備設置工事設計業務：約8085万円  
フリースクール等利用児童生徒支援事業：約83万円  
体育館の空調について、令和8年度に全校の実施設計を行い、令和9年度から部活動などで体育館の利用頻度が高い中学校から順次工事を行う予定。



### 2. 活力ある産業のまちづくり

有害鳥獣対策事業：約203万円

更なる被害軽減を目的とし、国の交付金に加え、町からの上乗せ補助を行うもの。また、ワイヤーメッシュ柵購入補助金の上限額を引き上げる。



### 3. だれもが元気で健やかに暮らせるまちづくり

乳児等支援給付費（こども誰でも通園制度）：約453万円  
保護者の就労状況に関わらず、0～2歳の未就園児は誰でも保育施設を利用できる「こども誰でも通園制度」に係る費用。



### 4. 安全で暮らしやすい環境があるまちづくり

自治振興補助事業：約800万円

自治会女性役員参画推進補助事業：60万円

自治会が管理する施設、設備等の維持管理に関するものへの助成、また自治会への女性参画を促進するための補助金の新設。



### 5. 快適な都市基盤があるまちづくり

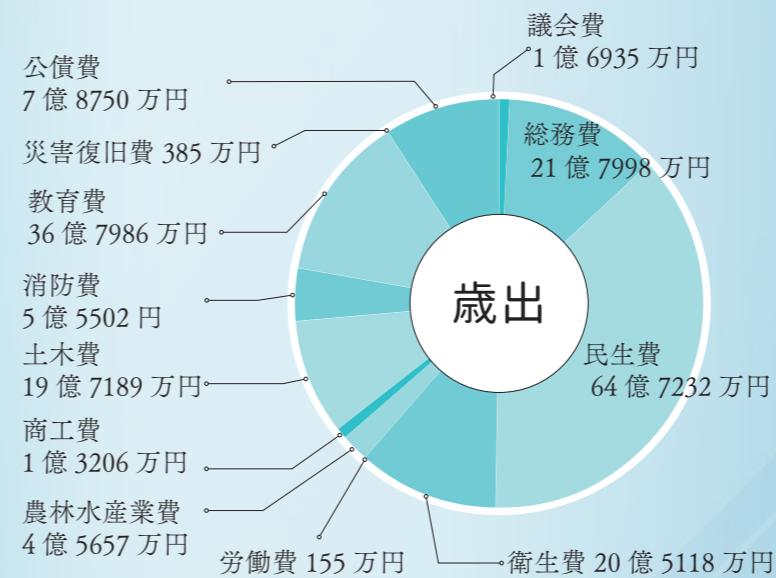
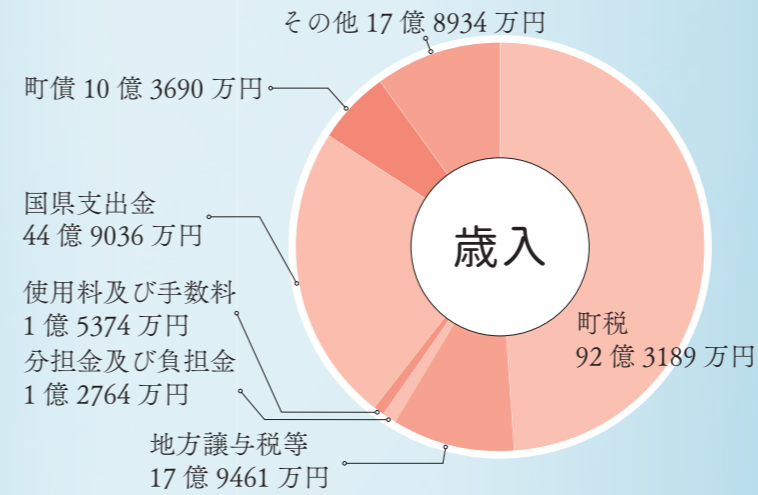
与原公園予備設計業務：約1600万円  
苅田町空き家バンク利用促進事業：300万円  
空き家バンク制度の利用促進のため、売主・買主の双方を対象に助成。



### 6. 持続可能なまちづくり

苅田町コミュニティバス運行委託業務：約4965万円

利用状況やニーズの変化、運転手の労働環境や周辺環境の変化に対応し、持続可能な公共交通を実現するため、運行ルートやダイヤを改正する。



3月定例会は、2月25日から3月24日まで開催、令和8年度予算をはじめ、条例の制定・改正や、人事案件などいずれの議案も可決しました。令和8年度の一般会計予算は、186億1548万円と前年度比

0.4%減の予算となっています。予算特別委員会での主な審議内容は6ページに、議案に対する主な質疑は5ページに、付託委員会の審議内容は7ページに、議決結果は9ページに掲載しています。

予算総額 186億1548万円  
(前年度比 99.6% 7179万円減)

	金額(万円)	前年度比		
一般会計	186億1548万円	99.6%	↓	
特別会計	国民健康保険特別会計	33億972万円	98.3%	↓
	後期高齢者医療特別会計	7億1562万円	106.7%	↑
	介護保険特別会計	31億584万円	103.3%	↑
	土地区画整理事業特別会計	7億9637万円	76.6%	↓
	住宅新築資金等特別会計	91万円	93.8%	↓
	苅田臨空産業団地開発事業特別会計	6万円	100.0%	→
	京都郡公平委員会特別会計	73万円	98.6%	↓

補正予算

令和7年度苅田町一般会計補正予算(第6号)は、歳入歳出それぞれ570万9千円を追加し、総額は206億2千943万円。

●令和7年度一般会計補正予算(第6号)  
歴史博物館基本設計業務委託料 571万円。

専決処分

●令和7年度一般会計補正予算(第5号)  
衆議院議員総選挙費の専決。

条例改正

●副町長の定数を定める条例  
執行体制の強化を図るため、副町長の定数変更に伴う所要の改正。

議案質疑

●令和8年度一般会計予算(第1号)  
【総務費】

Q 自治振興補助金800万円に3年間の期限と上限50万円にした理由は。  
A 区で考える機会を持つために3年間とした。

Q エアコンなどの設備も上限50万円の対象となるのか。  
A 区の負担部分に自治振興補助金の50万円を充てることも可能。



ワイヤーメッシュ柵

Q 集会所のエアコン整備補助の上限は60万円。自治振興補助金に対し10万円の差がある理由は。  
A それぞれが独立した制度。自治振興補助金は、掲示板などへの利用を想定。

Q 自治会女性役員参画推進補助金の内容は。  
A 区長が女性の場合10万円。役員の3割以上が女性の場合10万円。いずれの場合も20万円。

【民生費】

Q 自治会女性役員参画推進補助金の内容は。  
A 区長が女性の場合10万円。役員の3割以上が女性の場合10万円。いずれの場合も20万円。

Q 全国共通で、月10時間を超え、自己負担額は1時間、上限300円。  
A し尿・浄化槽汚泥受け入れ施設の運営等に関する負担金は、し尿のみ取りが続き間は必要となるのか。  
A し尿・合併浄化槽の受け入れは今後とも100%続くため、費用は毎年計上していく。

Q 衛生費  
し尿・浄化槽汚泥受け入れ施設の運営等に関する負担金は、し尿のみ取りが続き間は必要となるのか。  
A し尿・合併浄化槽の受け入れは今後とも100%続くため、費用は毎年計上していく。

令和8年度一般会計予算等30件を審議

補正予算

令和7年度苅田町一般会計補正予算(第7号)は、歳入歳出それぞれ2億7357万6千円を減額し、総額は203億5千585万4千円。

●令和7年度一般会計補正予算(第6号)  
歴史博物館基本設計業務委託料 571万円。

条例改正

●職員給与に関する  
開館時間の延長に伴う所要の改正。

●子ども医療費の支給に関する条例  
対象年齢の拡大に伴う所要の改正。  
●国民健康保険税条例  
医療分の所得割の税率変更に伴う所要の改正。  
●放課後児童クラブ設置条例  
開館時間の延長に伴う所要の改正。

●子ども医療費の支給に関する条例  
対象年齢の拡大に伴う所要の改正。  
●火災予防条例  
総務省令等の改正に伴う所要の改正。  
●その他の議案  
●第5次苅田町総合計画後期基本計画

\*補正予算(歳出で補正した主なもの)

【一般会計補正予算(第7号)】	
・保育士処遇改善事業補助金	146万円
・保育所等物価高騰対策費補助金	75万円
・水路維持補修工事	3950万円
・物価高騰対応地域商品券配布事業委託料	3億8852万円
・避難所用備品	371万円
・部活動大会参加助成金	104万円
【国民健康保険特別会計補正予算(第6号)】	▲1億1032万円
【介護保険特別会計補正予算(第5号)】	5394万円
【土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号)】	▲5918万円
【下水道事業会計補正予算(第3号)】	5965万円
【水道事業会計補正予算(第3号)】	▲6000万円

令和8年度から令和12年度までの後期計画。  
●福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更  
団体数の減少及び名称変更によるもの。

人事案件

●人権擁護委員の候補者の推薦  
今林 ユリ氏、沖永 圭子氏を再任



副町長  
藤原 昌彰 (写真右)  
古澤 輔 (同左)

●教育委員会委員の任命  
杉尾悦子氏を任命  
●固定資産評価審査委員会委員の選任  
片山 巧氏を選任  
追加議案  
●令和7年度苅田町一般会計補正予算(第7号)  
繰越明許費の追加。  
●副町長の選任  
藤原昌彰氏を選任  
古澤 輔氏を選任

Q こども誰でも通園制度の利用時間と自己負担額は。  
A 全国共通で、月10時間を超え、自己負担額は1時間、上限300円。

Q 区長が女性の場合10万円。役員の3割以上が女性の場合10万円。いずれの場合も20万円。  
A 来年度以降、鹿対策にも力を入れる。

Q 現在、猪の捕獲数は。  
A 令和8年2月1日現在で、猪が127頭、アナグマが5頭、アライグマが13頭。

Q 前年度との比較では。  
A 猪が142頭で前年並み。

Q 猪が増加傾向にあるが、駆除効果をさらに上げる対策は。  
A 来年度以降も体制を強化していく。

【農林水産業費】  
Q 有害鳥獣捕獲奨励金が拡大されたが、鹿対策は。  
A 次世代自動車購入補助金は、国内全部の自動車メーカーが

対象だが、自治体運営として非効率では。  
A 関税問題により、自動車産業全体がダメージを受けており、本町内の自動車産業を広く支援したい。

Q 中小企業の振興資金融資預託金は、近年1700万円の計上となっているが、利用状況は。  
A 令和4年度に1件の利用。

Q 借りにくい制度であり、制度設計の見直しが必要では。  
A 銀行とヒアリング後、最終的な協議を行い、制度を見直す。

Q 棚田景観保全事業助成金50万円は、現場から要望があれば増額できるのか。  
A 事業費が上がっている中、自分たちでも努力していること

を確保し、その上で決めていく。  
Q 中央公民館の大規模改修工事を継続費として8年度から2年間にわたり約15億4千万円かける工事の内容は。  
A 研修室の改修、特定天井の改修、LED化、席、ステージの改修など全面的リニューアル。

Q 機材などの搬入場所も対象となるのか。  
A 速やかに搬入ができるような構造に変更する予定である。  
Q フリースクールなどの施設と、利用人数は。  
A すみれ教室には、令和8年1月時点で17人が在籍。民間のフリースクールは、令和7年度は3人が風の里を利用。

## 委員会質疑

### 予算

#### 特別委員会

●令和8年度  
一般会計予算（歳出）

#### 【総務費】

●新庁舎建設モデル  
オフィスづくりに関する提案業務とは。

●新庁舎建設にあたり、現庁舎内でモデルオフィスを作り、生産性向上のために最適なオフィスの形状を作成し検証する。

●どの部署での実施を検討しているのか。

●企画課と交通商工課を想定。

●案内板点検業務委託の数と過去の実施状況は。

●町内59カ所で、新規事業である。



案内板

●文書広報費の消耗品費に子ども記者事業の予算が入っているのか。

●10人分、2万3千円を計上している。

●自治振興補助金の内容は。

●令和8年から10年の3カ年で、1区50万円までの補助を行う。

●放課後デイサービスの実施事業者数は。

●11法人11事業所。

●老人クラブ補助金の算定基準は。

●基本額6千円、会員1人当たり1千円、その他非会員への案内状の郵送費など。

●要望 補助額の増額を検討してほしい。

#### 【衛生費】

●新生児聴覚検査の内容と予定人数は。

●新生児の聴覚障害の有無を検査する。300人を予定。

●施設利用者への周知方法は。

●個別の案内やホームページなどの活用。

●補助金上限5千円の根拠は。

●主に交通費。先行している自治体を参考。

●中学生を対象とした苅田町みらい人財育成事業企画運営業務委託の内容は。

●町内中学校の生徒を対象に地域で活躍できるような人材を育成する事業。

●新規事業に至った経緯は。

●県の事業が終了するが、子どもたちには良い事業であり、本町が継続していく事業とした。

●対象人数は。また、この先も継続していく事業なのか。

●町内の中学生約20人が参加し、京築地区全体での事業として、今後も継続していく。

●20人程度は、公募をするのか。

●2つの学校に募集をかけ、合わせて20人を考えている。

#### 【歳入全般】

●町民税が前年度と比較して、減額措置されている理由は。

●税法の改正に伴い、給与所得控除額の変更なども含めて、減額の方向とした。

●令和7年度 一般会計補正予算（第7号）

#### 【消防費】

●避難所用備品について、この時期に購入した要因は。

●国の補助金が12月に交付され、新年度予算で上程するよりも、補助金2分の1を活用した方が効果

●農林水産業費】

●有害鳥獣駆除補助金で令和7年の実績は。

●電気柵19件、侵入防止柵1件の計20件。

#### 【商工費】

●臨空産業公園の完成時期は。

●令和9年8月を予定。

●要望 公園周辺の街灯を増やしてほしい。

●土木費】

●空き家バンク利用促進補助金が新設されたが、見通しは。

●現在

●空き家バンクへの登録は

●近隣自治体

空き家の活用始めてみませんか？

### 「苅田町空き家バンク」のご案内

4月1日から「苅田町空き家バンク」がスタートしました！空き家は活用することで地域の資源になります。苅田町内に空き家をお持ちの方で、売却を希望する方は、空き家バンクにご登録ください！登録された空き家は、町ホームページで公開されます。

●問/都市計画課 住宅政策担当 ☎093・434・6521

「苅田町空き家バンク」チラシ

的と考えた。

●購入したトイレ関係、その他備品は、各備蓄倉庫の容量が足りなくなると想定するが、最終的に収納できるのか。

●各避難所に整理をしながら収納を考えている。また、新庁舎の計画に組み込んでいきたい。

●苅田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

●通勤手当の改正に伴う対象者は何人か。金額は。

●対象は1人。金額は、約18万円。

●所得税に係る非課税措置限度額見直しの必要性は。

●所得税法が令和7年の11月に改正されており、非課税の範囲内である。

●参考

●消防団運営費補助金の新設の経緯は。

●消防団の要望により新設した。

●学校教育費】

●学校管理費で設計、管理業務委託料の内容は。

●各小学校の体育館へのエアコン設置の

●設計業務委託と与

●小学校の外壁工事。

●各区の育成会の団体数は。

●令和7年度は14団体。

●要望 各区の育成会への補助金の設立を検討してほしい。

●令和8年度 一般会計予算（歳入）

#### 【町税】

●固定資産税の税収見込みは。

●償却資産税が減少傾向にあると見込んでいる。

●国民健康保険特別会計予算

●赤字予定額は。

●歳入欠かん補填収入を173万8千円計上している。

●後期高齢者医療特別会計予算

●加入者の推移は。

●令和4年を基準に

## 総務

### 総務

#### 常任委員会

●下水道事業会計予算

#### 【町税】

●神田樋門の今後の予定は。

●県の所有であるが、早期対応のため、町予算で行う。ゲートの作成に時間を要するため、令和9年の完了を目指す。

●令和7年度は14団体。

●要望 各区の育成会への補助金の設立を検討してほしい。

●令和8年度 一般会計予算（歳入）

●固定資産税の税収見込みは。

●償却資産税が減少傾向にあると見込んでいる。

●国民健康保険特別会計予算

●赤字予定額は。

●歳入欠かん補填収入を173万8千円計上している。

●後期高齢者医療特別会計予算

●加入者の推移は。

●令和4年を基準に

●令和7年度一般会計補正予算（第7号）

●農林水産業費】

●遊休農地の把握はできていないのか。

●相談はあるが事業に結びついていない。

●現在のため池の数と補修が済んでいるものは何件か。

●調査対象が28カ所。令和6年度において、調査済みが10カ所。そのうちの3カ所が補修対象。

●組織数は。

●全48区中、35区。

●繰越明許費補正】

●会計年度は独立が原則だが業務の繰り越しが多いのでは。

●国の補正予算関係で年度内完了が無理なため。

●苅田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

●通勤手当引き上げの内容は。

●国家公務員に準じた。

●苅田町火災予防条例の一部を改正する条例の制定

●本町にサウナはあるのか。また、改正の理由は。

●サウナはない。全国的に火災予防条例を改正するもの。

●第5次苅田町総合計画後期基本計画

●前期基本計画の検証結果は。

●43施策中、目標達成度30%未満が9施策、30%以上70%未満が9施策、70%以上が25施策。

●令和7年度一般会計補正予算（第7号）

●農林水産業費】

●遊休農地の把握はできていないのか。

●相談はあるが事業に結びついていない。

●現在のため池の数と補修が済んでいるものは何件か。

●調査対象が28カ所。令和6年度において、調査済みが10カ所。そのうちの3カ所が補修対象。

## 令和8年第1回 苅田町議会臨時会議決結果一覧表

議案番号	件名	角崎明美	森琢磨	福山直樹	田淵朗	末石伸二	花見文敏	村上智宣	岩谷潔	尾形均	白石学	友田敬而	小山信美	武内幸次郎	坂本東一郎	榎谷忠明	沖永議長	結果	
議案第1号	令和7年度苅田町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第2号	専決処分について(令和7年度苅田町一般会計補正予算(第5号))	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
議案第3号	苅田町副町長の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	可決

## 令和8年第2回 苅田町議会定例会議決結果一覧表

議案第4号	令和8年度苅田町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第5号	令和8年度苅田町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第6号	令和8年度苅田町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第7号	令和8年度苅田町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第8号	令和8年度苅田町土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第9号	令和8年度苅田町住宅新築資金等特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第10号	令和8年度苅田町苅田臨空産業団地開発事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第11号	令和8年度京都郡公平委員会特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第12号	令和8年度苅田町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第13号	令和8年度苅田町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第14号	令和7年度苅田町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第15号	令和7年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第16号	令和7年度苅田町介護保険特別会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第17号	令和7年度苅田町土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第18号	令和7年度苅田町下水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第19号	令和7年度苅田町水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第20号	苅田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第21号	苅田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第22号	苅田町放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第23号	苅田町子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第24号	苅田町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第25号	第5次苅田町総合計画後期基本計画について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第26号	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第27号	人権擁護委員の候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第28号	人権擁護委員の候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第29号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第30号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第31号	令和7年度苅田町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第32号	副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第33号	副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意

○-賛成、×-反対 ※議長は採決に加わらない。但し賛成、反対が同数の場合は議長判断による。



古屋敷池

**Q** 森林アドバイザー業務委託料の内容は。  
**A** 本町の森林の今後について、様々な提案が示された。  
**Q** 公共施設における木製品製造委託料で、どのような物を作っているのか。  
**A** 主に公共施設に備え付ける備品。  
**Q** 物価高騰対応地域商品券配布事業の内

容と今後の流れは。  
**A** 商品券代は3億8千万円、配布はゆうパックを使用し、対面で手渡しする。6月の中旬から発送を始める予定。  
**Q** 繰越明許費補正  
**Q** 小波瀬西工大前周辺整備事業における予備設計の状況は。  
**A** 令和8年内を目指

**●令和7年度苅田町下水道事業特別会計補正予算(第3号)**  
**Q** ポンプ場の改修はどのような周期で行うのか。  
**A** ストックマネジメント計画、老朽化対策の計画に基づいた2カ年の改築であり、長寿命化を図るための工事である。  
**Q** 1年間のランニングコストは。  
**A** 年平均約2千万円。

### 厚生文教 常任委員会

**●一般会計補正予算(第7号)**  
**【民生費】**  
**Q** かねだ号運行業務委託料について、コロナ禍で運行業務が減っていたが、近年の利用の状況は。  
**A** 令和7年度が初年度であり経過は不明。今後の増加を見込んでいる。  
**Q** 部活動大会参加助



苅田中学校吹奏楽部

**A** 令和6年度は1879時間、令和7年度(12月末)は1247時間、年度末には令和5年度と同水準に近づく。  
**【労働費】**  
**Q** 若年者専修学校等技能習得資金貸付金について、毎年同じ金額で予算計上して、減額補正しているが、事業見直しの考えは。  
**A** 貸付実績はないが、県事業であり、町の負担分を予算計上する必要はある。

**●国民健康保険税条例**  
**Q** 保険料の上り幅と保険料の見込みは。  
**A** 年金収入に依りて600円から1万8700円の上昇。今後は県内統一税率に合わせるため上昇  
**●放課後児童クラブ設置条例**  
**Q** 子どもの安全安心・防犯の観点から、保護者が必ず迎えに来ることになっているのか。  
**A** 必ず迎えに来る仕組みとなっている。

# 研 修 報 告

## 福岡県町村議会議員研修会

1月9日（金）に福岡県町村議会議長会主催の議員研修会がオンライン形式で開催され、苅田町議会より9人が参加しました。前会津若松市議会議員の目黒章三郎氏による「誰のための議会か～議員が成長するために～」をテーマに、議会の役割や町民の意見に基

づく政策提言について学びました。住民の代表として、ニーズにそった政策立案、提言ができるよう生かしていきたいと思



# 議 会 の う ご き

1月	7日	議会広報特別委員会（167号の企画・編集）
	9日	福岡県町村議会議員研修会
	14日	議会広報特別委員会（167号の企画・編集）
	22・23日	産業建設常任委員会視察（兵庫県淡路市・神戸市）
2月	27日	厚生文教常任委員会
	28日	全員協議会（令和8年第1回臨時会提出予定議案）、議会運営委員会（令和8年第1回臨時会提出予定議案）、令和8年第1回臨時会、付託委員会（総務）

2月	3・4日	厚生文教常任委員会視察（大阪府和泉市・和歌山県紀の川市）
	5・6日	総務常任委員会視察（香川県丸亀市・善通寺市）
	19日	全員協議会
	20日	議会運営委員会
3月	25日	第2回議会定例会（開会）、議会広報特別委員会（第168号企画編集）
	27日	議案質疑
	5・6・9日	一般質問
	11日	付託委員会
	13・16・17日	予算特別委員会
24日	全員協議会、議会運営委員会、第5回議会定例会（閉会）、議会広報特別委員会（第168号企画編集）	

## 6月定例会の予定

- \*会期は6月5日（金）から6月23日（火）まで
- \*一般質問は6月15日（月）・16日（火）・17日（水）
- \*問合せ先 議会事務局 ☎093・434・1981

## 議会中継アクセス件数

3月末時点アクセス件数  
(令和7年4月からの累計)  
ライブ中継 1064件  
録画 中継 6455件

## 苅田町ホームページで議会映像を配信しています！

傍聴に来られない方でも、右QRコードからインターネットで視聴できます。議員の生の声を聞いてみませんか？



## 総務常任委員会視察研修▷▷▷香川県丸亀市・善通寺市（2月5・6日）

### 研修内容 庁舎と併設する複合施設

丸亀市の市民活動センター マルタスは指定管理者が運営し年中無休で開館。カフェやラウンジ、貸会議室やキッズスペースなどがあり、誰もがいつでも訪れることができる居心地のいい滞在空間を整えており、市役所に併設されていることで連携しやすく、市民との対話の場として活用されています。善通寺市新庁舎は、令和4年1月に竣工し、

2階に図書館を併設。庁舎であるとともに災害発生時には危機管理の中心的役割を果たす防災拠点となります。建て替え後は明るく清潔で利用しやすいとの声があがる一方、図書館利用の増加に伴い駐車場の課題もあり、本町にとっても今後の課題と感じました。



## 産業建設常任委員会視察研修▷▷▷兵庫県淡路市・神戸市（1月22・23日）

### 研修内容 民間活力を生かした取り組み

淡路市は、人口約4万人で交通アクセスや物流環境など本町と類似した条件を有しています。企業立地促進条例やインセンティブの充実により企業誘致を進め、雇用創出と地域活性化を図っており、特に統廃合した学校施設の企業活用や「夢舞台サステナブル・パー

ク」の整備など、民間活力を生かした取り組みが進められていました。これらの先進事例を参考に、本町においても公共施設の有効活用や企業誘致施策の検討を進めていく必要があると感じました。



## 厚生文教常任委員会視察研修▷▷▷大阪府和泉市・和歌山県紀の川市（2月3・4日）

### 研修内容 歴史博物館と農福連携

いずみの国歴史館は平成11年開館で、平成30年に常設展をリニューアル。和泉市は国史跡、和泉黄金塚古墳などがあり、古くから栄えた町で、令和4年度から小学校6年生に郷土史読本「いずみ歴史さんぽ」を配布しています。本町も歴史ある町であり、展示・保管など、次世代への歴史教育、観光PRをやっていくべきと感じました。社会福祉法人一麦会 ソーシャルファームも

多様な人たちが、農業などで活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会参画する現場を視察。農業生産だけではなく、加工品の商品開発から製品化、カフェの運営など、活躍できる場所がありました。障害を持つ方も稼げる仕組みの必要性を感じました。わが町でどのような形であれば実現が可能なのか、今後も探っていきたいと思います。





# 一般質問内容一覧

## 3月定例会において 11名の議員が質問

質問者氏名	質問要旨	掲載
末石 伸二	1. 待機児童の実態 2. 部活動の在り方	13 ページ
岩谷 潔	1. 区画整理事業 2. パンジープラザ廃止にともなう今後の動きは 3. 公共施設整備の優先順位は	14 ページ
小山 信美	1. 井場川埋立地（磯浜緑地）の利活用 2. 特定外来生物（アライグマ）対策	15 ページ
森 琢磨	1. 井場川埋立地町有地の利活用について 2. 等覚寺地域などの町有施設、町有地・町有森林の利活用について	16 ページ
福山 直樹	1. 子ども・子育て支援について 2. 人材育成と組織体制について	17 ページ
白石 学	1. 南海トラフ地震 2. 定住化対策	18 ページ
尾形 均	1. 小波瀬西工大前駅周辺整備事業について 2. 令和7年12月定例会町政報告について 3. 脱炭素について	19 ページ
角崎 明美	1. 本町の外国人増加による自治体負担について 2. 本町の少子化対策と子育て支援の在り方について	20 ページ
坂本東二郎	1. 住民自治とは	21 ページ
花見 文敏	1. 行政の見える化、わかる化ならびに町民参加の強化について 2. 園児、児童の交通安全について 3. 伝統的な祭りの継承について	22 ページ
村上 智宣	1. 小波瀬西工大前駅整備事業について 2. 都市計画道路曾根行橋線について	23 ページ

一般質問について掲載している内容は、会議録に基づき質問者自身が要約し広報委員会が校正したものです。なお、一般質問の録画映像は、苅田町議会ホームページでご覧いただけます。

### Q 入所できなかった保護者への相談体制は

### A ことども課の窓口で丁寧に対応



末石 伸二（飛翔の会）



**Q** 令和7年度4月の待機児童数が3人、7月には解消されているが内容は。

**A** 4月に園も定員まで受け入れておらず、7月に受入体制が整い解消された。

**Q** 待機児童3人の内訳は。

**A** 1歳児が3人。保護者の仕事復帰と重なる傾向がある。

**Q** 待機児童の定義は。

**A** 就労や就学のために保育所等の利用を希望しても入所できない

ていない児童。そのうち、特定の園を希望されている方などは待機児童ではなく、未入所児童となる。

**Q** 第3希望まで届けなくても入所できなかったのは、待機児童にはならないのか。

**A** 本町は30分以内で通園ができると考えられていなければ待機児童には入らない。

**Q** 入所を待たれている未入所児童数は。

**A** 令和5年度が39人。

6年度が29人。7年度が52人。8年度は調整中。

**Q** 入所希望が叶わなかった世帯の状況やニーズを保育政策に反映しているのか。

**A** 保育士の処遇改善や就職支援金の拡大などの保育環境改善や令和8年度からは、認定こども園を導入し、受入れ拡大にも努める。

**Q** 令和8年度から始まるこども誰でも通園制度とは。

**Q** 子供の育ちを支えるため、全ての家庭が保育サービスを利用できる制度。

**部活動の在り方**

**Q** 活動の地域移行から部活動の地域展開と名称変更された理由は。

**A** 学校と地域が一緒に取り組む考えを明確にするため。

**Q** 令和7年度中に行われた苅田町立中学校部活動検討協議会の内容は。

**A** 部活動の地域展開に関するアンケート調査を生徒、教員に実施し共有した。

**Q** アンケートの結果は。

**A** 生徒は、分からないも含め意見が分かっている。教員は、

やりがいを感じる一方で、負担感も抱えていることが明確になった。

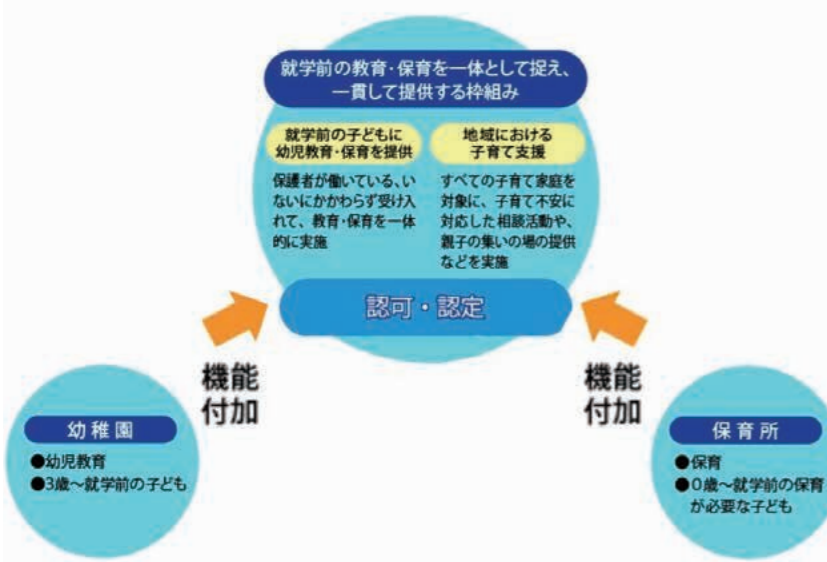
**Q** 部活動の方向性について、現在の状況は。

**A** 令和8年度版部活動ガイドラインを保護者間アプリにて配布している。

信予定。

**Q** 本町として、部活動の地域展開をどういった形にしていくなのか。

**A** 平日は教師として部活動、休日は地域クラブの指導者として、兼職兼業を行う形が合っている。



認定こども園概要（こども家庭庁 HP より）



### 白石地区の区画整理事業の方向性を早く

**A** 検討の時期が  
せまっている



岩谷 潔 (飛翔の会)



**Q** 苅田土地区画整理事業の概要は。

**A** 福岡県施工、昭和16年から34年事業費3億1千万円。

**Q** 小波瀬土地区画整理事業の概要は。

**A** 苅田町施工、当初計画は、昭和50年から54年、事業費26億8千万円。実際には昭和50年から平成12年、事業費153億4千万円。

**Q** 当初計画より大幅に誤差が生じているが。

**A** 地元の意見を聞き9回の変更があったため。

**Q** 効果は。

**A** 住宅環境整備ができて、人口増加につながった。

**Q** 与原土地区画整理事業の概要は。

**A** 苅田町施工、当初計画は、平成22年から32年、事業費75億3千万円。実際には平成22年から令和14年、事業費令和7年度までに87億4千万円。

**Q** 小波瀬での教訓は生かしているのか。

**A** 与原は変更2回。

**Q** 現在、与原の進捗率、保留地売却状況は。

**A** 進捗率85%。保留地46区画、10億4570万円、残り12区画2億1500万円分。

**Q** 住宅戸数は。

**A** 70%が土地を使用。戸建て278戸、共同住宅98戸、店舗兼住宅4戸、施設等9棟。

**Q** 起債残高は。

**A** 令和7年度末時点で25億円。

**Q** 美波台東側の森林の整備は。

**A** 県道から110メートルは町管理。令和9年から整備。

**Q** 区画整理地から県道25号線の交差点で道路にずれが生じるが。

**A** 葉山池下の用地を買収し、ずれをなくす。

**Q** 白石地区の区画整理事業は。

**A** 整備の方針は決まっていない。

### パンジープラザ

**Q** 最初の計画予定は。

**A** 令和8年度に廃止し、総合福祉会館で障がい者福祉、保健事業を実施予定だった。

た。

**Q** 変更後は。

**A** 社会福祉協議会が令和15年、こども課が令和12年まで残り、シルバー人材センターは移転場所が決まっていない。

**Q** 維持管理費は。

**A** 年間5千万円程度。令和9年度からは少なくなる。

**Q** パンジープラザの今後は。

**A** 様々な議論をしている。  
**Q** 当初の予定は。  
**A** 解体し売却。  
**Q** 本来、廃止する目的は。  
**A** 維持管理費がかかり過ぎるため。  
**Q** 維持管理費がかかるのに令和15年まで使用するのか。  
**A** 今後、維持管理費も下がるため、総合的に最善策と考える。



与原土地区画整理地内

### 井場川埋立地活用の課題は

**A** 条件見直しと  
みなと緑地PPP制度の活用



小山 信美 (公明党)



**Q** 民間活力の導入に至った経緯は。

**A** 第5次苅田町総合計画に基づき、サウンディング調査を、国の補助採択を受け、調査委託を実施した。  
**Q** サウンディング調査の選定方法と、地域範囲は。

**A** 開発事業者、テナント入居者、町内の大手企業などを対象に全国区で調査した。プランでは、駐車場利用の適正化と新たな

な駐車場確保の検討がある。現状は。

**A** 商店街の福岡銀行横駐車場36台。

**Q** 民間活力導入が難しい理由は。

**A** 物価高や定期借地条件がネックとなり参入意欲が低い。

**Q** 今後の方向性は。

**A** 条件を見直し、新たな視点で再設計し、公募を再挑戦する。

**Q** 再公募の時期は。

**A** 令和8年度中に方向性を示す。  
**提言** これ以上の長期

### 外来生物アライグマ対策

**Q** 現状と課題は。

**A** 有害鳥獣対策での捕獲数は、イノシシ、アライグマ、アナグマの順に多い。アライグマは繁殖力が強く、農作物や生活環境への影響も懸念される。現在の従事者だけでは駆除できな

くなると認識。

**Q** 感染症リスクへの認識は。

**A** 人獣共通感染症の危険性は認識している。

**Q** 県のワンヘルス推進策と、本町の外来生物対策の連携は。

**A** 家畜保健衛生所と連携を取っている。  
**Q** 苅田町版ワンヘルス政策としての位置付けは。

**A** 再度勉強し取り組みを進めていきたい。

**Q** 県の防除計画に参加の理由は。

**A** 処理体制や職員の負担面から現時点で必要性が低いから。

**Q** 有害鳥獣の報償金は。

**A** 国からのみでイノシシは7千円。アライグマなどの小動物は千円。  
**Q** 捕獲従事者の状況

### 特定外来生物 アライグマにご注意ください！



特徴① 尾に縞々の模様

特徴③ 5本の指がはっきりしている 前足 後足

特徴② 眉間に黒い筋模様

**生態系被害！**

- 両生類、爬虫類、魚類など外来種を捕食
- 食物や生息域が共通しているタヌキ、キツネなどの餌や住みかを奪う

**農作物被害！**

- スイカ、ブドウ、トウモロコシなどを食い荒らす

**生活環境被害！**

- 空き家や天井裏に侵入し、建物を破損、汚損

⇒ アライグマ対策に取り組んでいます！ ※詳細は裏面

活動時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
繁殖期	●											
活動活発期	●											
野外の餌は少ない	●											
活動活発期	●											
野外の餌は多い	●											
活動活発期	●											
野外の餌は少ない	●											

福岡県環境部自然環境課

アライグマに対する注意喚起(福岡県 HP より)

### Q井場川町有地の利活用は

### A民間活力の有効利用に努める



森 琢磨 (高志会)



**Q** 取得の時期、埋め立て工事費、目的は。  
**A** 平成21年1月、4300万円。ヒト・モノ・情報の交流促進や港湾発展と農林水産業の振興。  
**Q** どのような効果が期待されたのか。  
**A** 憩いや交流空間が創出され、町の魅力アップや苅田駅を含めた交通結節点との一体的土地利用のまちづくりの展開。  
**Q** 現在の状況は。  
**A** 活用調査を実施中。

**Q** 造成費や維持管理費の総額は。  
**A** 合計約5千万円。  
**Q** 具体的な利活用は。  
**A** 食の祭典の「1グランプリやフリーマーケット」など。  
**Q** 今後の活用検討調査の内容は。  
**A** 官民対話で事業の可能性などを聞く「サウンディング型市場調査」を実施。  
**Q** 調査の結果は。  
**A** 財政負担の少ない定期借地公募では民間参加の可能性は低い。

**提言** 利便性の高い当該地を、憩いとにぎわいの両立する拠点とし、駅や商店街との回遊性を促進し、中心市街地が活性化することを望む。  
**等覚寺地域町有地の利活用**  
**Q** 取得時期と目的は。  
**A** 平成19年9月に購入。生活道路を含んだゴルフ場建設予定地が競売に係り、住

民生活の支障を防ぐため。  
**Q** 取得金額は。  
**A** 5500万円  
**Q** 維持管理体制は。  
**A** 等覚寺地区や、郷土の自然と文化を守る会が草刈を行い、生涯学習課が適時パトロールを実施。  
**Q** 平成19年の「里山体験学習の森整備構想」の内容と検討の経緯は。  
**A** 青龍窟、広谷湿原地域を自然体験探索エリアとし、山口分校跡地の大規模な学習拠点施設整備。経済の状況変化などにより、平成25年に事業凍結。  
**Q** 貴重な自然・教育資源を含む当該地の今後の利活用は。  
**A** 保全と活用を検討。  
**Q** 町有林を社会教育



森林アスレチック (添田町 HP より)

の拠点とする利活用や簡易なキャンプ場やアスレチックなどの創設整備は。  
**A** 今後、提案を活用する。  
**Q** 生活道路である青龍林道の現状は。  
**A** 通行止めだが、令和8年度に工事が完了すれば、令和9年4月開通予定。  
**Q** 北九州国定公園方

面への登山道などの利用促進策は。  
**A** 自然と親しむ遊歩道などの整備を地元と連携し、検討する。  
**提言** 野外教育、山間の活性化、人口対策に資するため、等覚寺地域町有地と広谷湿原・青龍窟地域との一体的な利活用を望む。

### Q認定こども園開始の背景は

### Aニーズ調査で利用希望が多かった



福山 直樹 (飛翔の会)



**Q** 認定こども園のメリットは。  
**A** 保護者の就労状況に関わらず、3歳以上は教育と保育を一体的に受けられる。  
**Q** 町の負担は。  
**A** 園への給付額や事務量が増える。  
**Q** 園の負担は。  
**A** 保育園と幼稚園、両方の事務が必要となる。  
**Q** 事務量軽減の支援は。  
**A** デジタル化を検討している。

**Q** 今後、認定こども園は拡大していくのか。  
**A** 来年度は1園だが、住民のニーズと各園の意向及び町の財政状況を勘案し、取り組んでいく。  
**Q** 誰でも通園制度の実施は、自治体の義務なのか。  
**A** 令和8年度から全国に自治体に義務付けられている。  
**Q** 預けられるのは、月10時間までだが、保育士の負担増にならないのか。  
**A** 保育士を別に雇用する。  
**Q** 幼児教育と保育のビジョンは。  
**A** 多様なニーズに応じた質の高いサービス提供を行っていく。

**提言** 他の自治体になり  
**子どもの遊び場づくり**  
**Q** 子どもの遊びに対する認識は。

**A** 発達段階の子どもにとって大変重要。  
**Q** 子どもの余暇時間の使い方を客観的に把握しているのか。  
**A** 該当するデータはない。  
**Q** 子どもが自由に安心して遊べる場が少ないと思うが。  
**A** 学校の開放や放課後子どもひろばにおいて、一定のルールで遊ぶことが可能。また公園の整備も計画的に進めている。  
**Q** 外遊びは生きる力を養う良い機会だが、減少しているのでは。  
**A** コロナ禍以降減少していることを危惧している。  
**提言** プレイパークなど外遊びの場づく

りを検討すべきだ。

### 人材育成と組織体制

**Q** 近年の職員採用と離職の状況は。  
**A** 採用は令和5年度12人、6年度8人、7年度10人。離職は4年度3人、5年度5人、6年度7人。  
**Q** 離職防止の取り組みは。  
**A** 採用試験時の職場実践試験の取り入れや課長と所属職員のコミュニケーション強化、休暇取得の声

かけ、各種ハラスメント対策など。  
**Q** 組織機構の編成ポイントは。  
**A** 社会環境変化への対応、柔軟性・効率性、組織間の連携や業務プロセスの考慮。  
**提言** リーダーの育成を強化すべきだ。



苅田町こども計画

### Q 南海トラフ地震の津波浸水地域は

#### A 想定では日豊本線を超えない



白石 学 (公明党)



Q 地震による本町の最大被害想定は。

A 国・県の想定では、避難者は約40人、死傷者、災害関連死はごくわずか。

Q 建物被害は。

A 全壊がごくわずか、半壊が約20棟だ。

Q 浸水想定区域内の世帯数や高齢単身世帯・障がい者世帯は把握できているのか。

A 把握していない。県が詳しい調査をしている。それにより把握できると思う。

Q 町独自の被害想定は考えないのか。

A 今は把握できていない。検証してみた。

Q 災害関連死で亡くなる方が増えている。防止策は。

A 避難所生活で不自由がないように、二丁に沿った備蓄品等を整備する。

Q 重点施策の推進について、命を守る対策と命をつなぐ対策の詳細は。

A 地域の防災力の強化が必要。住民の防災意識の高揚、共助防災組織の強化など。インフラの早期復旧や避難生活の質の確保などだ。

Q 個別避難計画で、避難行動要支援者のうち、380人中208人が登録完了。残りの方への対応は。

A 自治会や自主防災組織、民生委員などと連携して実効性のあるものを作成する。

Q 本町は沿岸部に工場地帯が集中してい

る。危険物取扱施設の把握や南海トラフ地震発生時の対応は。

#### 定住化対策

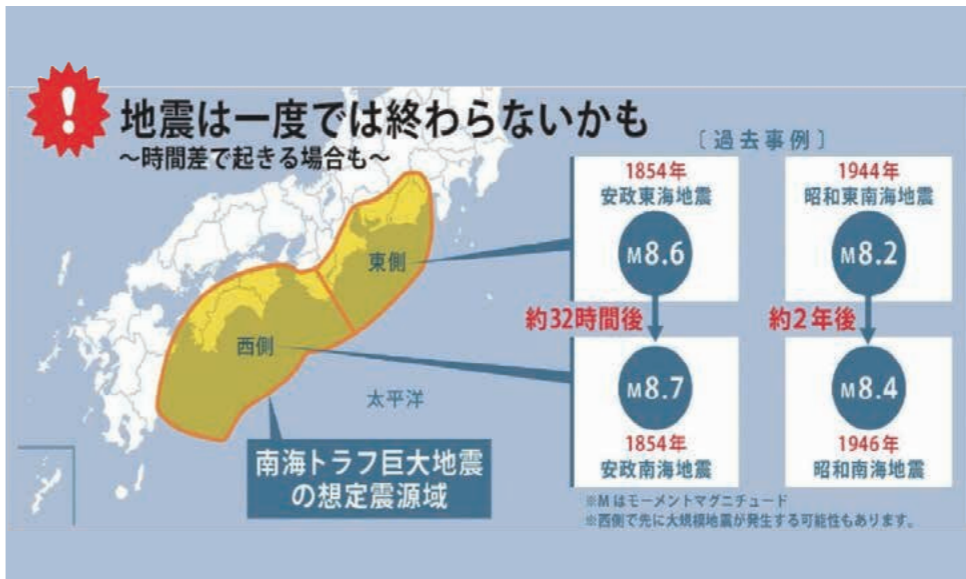
Q 移住支援金が世帯で100万円、単身で60万円。交付は東京圏・名古屋圏・大阪圏に限定している理由は。

A 大都市圏に人口が流出している。その流れを留めたい。

Q 空き家を地域の資源として、地域の活性化を進めている。情報発信の仕掛け

る。危険物取扱施設の把握や南海トラフ地震発生時の対応は。

A 町の魅力発信について、SNSなどあるが、重要な課題だ。さらに検討する。



南海トラフ地震想定震源域 (福岡県庁 HP より)

### Q 人口減少時代、新たな事業への取り組みは

#### A 予定事業は計画どおり進めていきたい



尾形 均 (無党派)



Q 小波瀬西工大前駅の利用客は減少しているが。

A コロナ禍により減少している。乗降者3220人。コロナ前の85%。

Q 利用者は元に戻るか。

A 平成31年の基本計画検討業務での推計では、2040年3600人。

Q 事業費用は。

A 現時点で総費用は約35億円。

Q 年予算の約5分の

1を投入。この事業は妥当か。

A 35億円すべてが町の一般財源持ち出しではない。また、駅周辺の状況は改善の必要がある。

Q 行政の事業は費用対効果を考えるべき。

A よって駅移転と周辺整備事業は別々に考えるべきでは。

Q この事業は一体的に捉えた方が効果的

にできる。

であり、駅移転は再考すべきでは。

A 日豊本線より西側の人は不便である。東西の人が便利になれば利用者は増える。

Q 人口増が見通せないこの地域への多額の投資よりも、もつ

と他の方法で投資を考えた方がよいのでは。

A 毎日3千人を超える人が利用している。

今後どうなるか分からないが、新たな投資をして賑わいを

作っていききたい。

Q 利用者は今以上に増えない。だが、周辺整備はやるべきだ。安全性が確保され、費用は抑えられるのか。

A 駅と周辺整備は一体としてやった方が効果的にできる。

Q なぜ、他の業者を

参入させて幅広く検討しないのか。

A 今まで、手順を踏んで議会にも説明してきた。

Q 一体としてやるなら、周辺整備は他の業者も含めて競争

させては。

A 価格のみで決める

のではなく、最も効果的かつ安価でできる方法をコンサルに依頼し決定。

Q 合理的な案が出てくるのかという疑問

が残るが。

A 計画どおり進めていきたい。

提言 失敗の例として苅田駅がある。費用対効果を考えるべきだ。



小波瀬西工大前駅 駅前ロータリー予定地

### Q 今後の外国人増加の見込みは

#### A 具体的な想定は現状行っていない



角崎 明美 (無会派)



Q 直近5年の外国人住民数は。

A 令和3年1040人、4年983人、5年1277人、6年1453人、7年1564人、8年1月

末1696人。

Q 技能実習生、特定技能1号・2号の推移は。

A 技能実習生は令和3年355人、4年271人、5年321人、6年386人、7年399人。特定技能1号は令和3年

57人、4年76人、5年124人、6年155人、7年164人。特定技能2号は令和7年度2月から1人。

Q 特定技能外国人を雇用している町内の事業所数は。

A 30社。

Q 業種は。

A 製造業18社、サービス業7社、食品関連5社。

Q 外国人住民対応に関わる年間行政コストは。

A 多文化共生の取り

組みとして、約251万円。

Q 外国人対応に関する国や県からの交付金は。

A 国の外国人受入れ環境整備交付金。運営事業の2分の1補助。

Q 外国人労働者受入れに対する本町の基本的な考え方は。

A サポート体制を整え、快適に住み続けていただける体制をつくる。

### 本町の少子化対策と子育て支援の在り方

#### Q 本町の子育て支援施策の目的は。

A 全ての子どもが安心して育ち、保護者が孤立せずに子育てできる環境を整えること。

Q 令和7年度出生数258人という現実を踏まえ、出生数の中長期的な数値目標は。

A 平成30年度から令和7年度で2048人。令和6年度までの累計で1537人。

#### Q 施策の再整理は。

A 令和8年度からの第3期総合戦略を策定する中で見直していきたい。

Q 少子化問題に対する町長の考えは。

A 少子化対策は非常

### Q 地域自治の推進と振興について

#### A 地域自治は強い地域の絆になる



坂本東二郎 (高志会)



Q 自治活動そのものが他人事ではなく自分事としてとらえていただきたいが。

A 地域の皆さんが組織をつくって主体的に決定して活動する事が望ましい。

Q 社会変動の中で、地域活動に気持ちが向かないので、自治会に入らないのでは。

A 自治会は防災防犯の観点からも必要。非常に心強い地域の絆になる。

Q 自治会以外の団体である老人会組織の町民力は。

A 高齢者の組織であり、地域の単位クラブ数については、年々減ってきているが、維持していきたい。

Q 老人会組織の衰退

とは、地域を支える地域力の衰退であり、危機感をもっているが。

A 存続には担い手の育成、小学生達との交流、地元企業への働きかけなどが効果的。

Q 地域自治の一つの姿として白川の自然と文化を守る会があるが、活動内容は。

A たくさんの方が草刈りに参加し、頑張っていた。

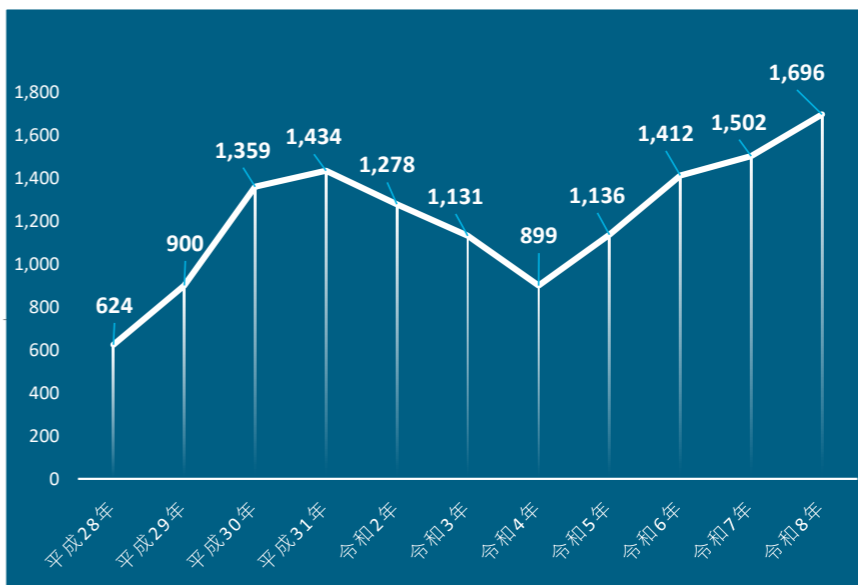
Q 活動についての所感。

A かなりの作業量と運動量だが、一致団結していただき、感謝する。

Q 白川地域は都市計画区域外であり地域全体の将来像、未来像を描き語る場がないが。

に重要な課題だと認識し、総合的な政策を進める。

提言 外国人労働者の問題と少子化の問題は一体の課題。将来を見据えた少子化対策を進めていくべきだ。



町内外国人 人口推移 (1月末時点)



白川地区から等覚寺を望む

A 地域の未来について語り合う提言意見交換の場に出させてもらいたい。

Q 白川の歴史的背景や立ち位置を勘案しながら、住民自ら考え、地域像を協議する場合は。

A 現在、町民説明会や町政報告会にて地元の方々から意見を

聴取している。Q 住民自治活動を再生するための地域協議会については。

A 地域ごとに課題があり、町からの提案は難しいが、地元から地域協議会結成の機運が高まっていくことが望ましい。



山口ダムから望む白川の田園風景

### 行政の見える化、分かる化の現状は

#### 行政評価制度で評価を行っている



花見文敏 (高志会)



**Q** 行政データの公開や情報のビジュアル化、行政情報を分かりやすくする取り組みは。

**A** ユーチューブやインスタグラムを用いた取り組みを強化している。

**Q** 各事業のコストや成果についてどのように把握し、評価しているのか。

**A** 事務事業評価を行い、ホームページで公開している。

分かる化と住民参加の強化について町長の考えは。  
**A** SNSは有効な手段だが直接対話を拡大する必要がある。  
**提言** 行政の見える化と住民参加は、住民と行政の信頼関係を築くための基盤である。開かれた行政運営を進めるべきだ。

#### 子どもの交通安全

**Q** 通学路の危険個所の把握と安全対策の

取り組みは。

**A** 各学校が保護者や地域住民と連携して、通学路の安全点検や危険個所の洗い出しを行い、警察や道路管理者、町と協働して必要な安全対策を行っている。

**Q** 交通安全教育を図る観点から、交通公園や交通安全広場の整備について考えは。

**A** 交通に特化した施設は簡単ではないが、苅田港緑地公園は県の所有なので一度確

認したい。  
**提言** 子どもの命を守る取り組みにやり過ぎはない。事故が起きないまちを作る前向きな検討を要望する。

#### 祭りの継承

**Q** 伝統文化の保存と継承について、本町の基本的な取り組みは。

**A** 祭りの安全確保や円滑な運営、伝統継承の支援を目的に補助金を交付している。

**Q** 等覚寺の松会に80万円、山笠に140万円の補助金の理由は。

**A** 過去の経緯や申請内容を協議した結果。  
**Q** 政教分離の観点はどう整理しているのか。

**A** 地域の伝統文化や祭りの継承、安全な運営のための支援。  
**Q** 苅田山笠や等覚寺松会の継承について、町長の考えは。

**A** 地域の賑わいづくりやコミュニケーションの醸成する意

味でも有効な手段だ。今後も検討、勉強したい。  
**提言** 伝統文化は地域の歴史と共に歩んできた大切な財産だ。今後も守られ次世代へと引き継がれていくことを期待する。



苅田山笠

### 小波瀬西工大前駅周辺整備事業の進捗は

#### 各機関との調整、検討を行っている



村上智宣 (高志会)



**Q** 予備設計の執行状況や進捗は。

**A** 現在、複数の計画、施設について検討を行っている。

**Q** 決定したものはあるのか。

**A** まだ決定したものはない。

**Q** まだ設計に時間を要するのか。

**A** 令和8年度にまたがって行う。  
**Q** 遅れの原因は。  
**A** 複数の機関との協議を行っているため。  
**Q** 費用面での影響は。

**A** 削減する施設についての検討の変更はない。

**Q** JR九州側も同様の認識か。

**A** 同様である。  
**Q** 着工時期への影響は。

**A** 全体の工期が遅れないよう努力する。  
**Q** 事業が遅れ気味では。

**A** 予備設計後に現実的な見通しが立つと考えている。  
**Q** 施設検討の内容は。  
**A** 道路交差点の形状、

駅前広場の形状などを検討中。

**Q** 具体的な協議先は。  
**A** 警察、福岡県、小波瀬病院など。

**Q** 令和8年度も予備設計業務が続くのか。  
**A** その通り。

**Q** 令和8年度当初予算は上がっていないのか。  
**A** 繰り越し予算の執行のみの予定。予算を伴わない作業を中心にを行う見通し。

**Q** 予備設計の結果はいつ頃になるか。

#### 都市計画道路 曾根行橋線

**A** 令和8年度中が目標。都市計画決定や変更などを行いたい。  
**Q** 補助金の申請への着手は。  
**A** 都市計画決定の進捗次第となる。

**Q** この区間での事故の状況を把握しているか。

**A** 供用開始後、15件発生している。  
**Q** 交差点の注意喚起の明示をお願いしたい。

**A** 町としては、福岡県に報告している。  
**Q** 県からの回答はあったか。

**A** 数か所の注意喚起を行うよう計画しているとの回答があった。

**Q** 町道への歩行者通行帯設置の件は。  
**A** 工事発注済み。年度内に完成の見込み。  
**Q** 県が警察への働きかけをしたかの情報はあるか。

**A** 福岡県がデータ収集として、交通量調査を行った。  
**提言** 本件については、町からも県に要望を伝えるべきだ。



開通した県道曾根行橋線



**北**九州空港は 2006 年 3 月 16 日に開港し、今年で 20 周年を迎えました。それを記念して 3 月 15 日（日）に記念式典と感謝祭が開催されました。北海道や沖縄の物産展や航空会社の制服試着、ステージイベントなども行われ、家族連れなど、多くの人々で賑わっていました。今後は、路線拡充や利便性向上を通じ、地域経済と交流のさらなる発展を期待しています。



表紙の写真



尾倉すみれ幼稚園  
入園式

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
角崎	森	福田	末石	小山	村上	村	榎谷
明	琢	直	伸	信	智	智	忠
美	磨	樹	朗	美	宣	宣	明

議会広報特別委員会

春風とともに、希望あふれる季節の到来の中、令和 8 年度の予算審議が行われました。限られた財源の中で、必要な施策を見極め、将来世代につながる予算となるよう議論。新規事業も多い中、市民の皆さまの暮らしを支える責任を改めて強く感じました。親しみやすく、思わず読みたくなる広報誌を目指して。皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしています。

小山 信美

あとがき